

教員業績

マツモト トモヤ

氏名 松本 智也

職名	助教
専門分野	日本近世史、日本思想史、日朝関係史
学位	博士(文学)

学術論文・学会発表等

2015年	10月	(学会発表)「徳川時代漂流記に見る朝鮮認識」＜日本思想史学会大会＞
2016年	8月	(学会発表)「19세기 초 조일상호인식의 한 측면 —— 일본 지식인과 1811년 辛未通信使와의 접촉을 소재로」＜'트랜스내셔널 역사학' 학문후속세대 학술대회＞
2016年	12月	(学会発表)「近世後期対馬における朝鮮認識—小田幾五郎を中心として—」＜九州史学会大会＞
2017年	10月	(学会発表)「対馬藩儒満山雷夏(1736～90)の藩屏論と礼制論」＜日本思想史学会大会＞
2018年	1月	(学術論文)「対馬藩儒満山雷夏の自他認識——「藩屏」論と「礼」論より」(単)＜『立命館文学』655号＞
2019年	5月	(学会発表)「對馬 ‘藩屏’ 론으로 보는 18-19세기 對馬藩의 자아인식 형성」＜韓日関係史学会＞
2019年	10月	(学術論文)「近世後期日本知識人の日朝関係認識—文化度通信使との接触を通じて—」(単)＜『歴史評論』834号＞
2019年	11月	(学術論文)「18～19세기 對馬 지식인들의 ‘藩屏’ 론 -역사서 편찬에 보이는 자아인식의 형성-」(単)＜『韓日関係史研究』66号＞
2021年	5月	(学会発表)「1811年度通信使迎接の儀礼空間構築——徳川幕府の対応を中心に」＜東アジア文化交渉学会＞
2022年	3月	(学術論文)「文化易地聘礼をめぐる徳川幕府の対応——諱・上使称号・衣服についての林述斎の発言を手掛かりに」(単)＜『日本思想史研究会会報』38号＞
2023年	10月	(学会発表)「宝暦度通信使と幕府儒官との交流——朱子学普及の動向を視野に」＜広島史学研究会大会＞
2024年	9月	(学会発表)「近世後期の通信使と日本人との学術交流—「寛政異学の禁」を媒介に」＜2024년 조선후기 한일관계 국제학술회의 '조선후기 한일교류 연구의 현재, 미래'＞
2024年	11月	(学会発表)「近世後期における日朝関係構築の模索——学問所儒者の筆談想定問答集を通して」＜日本思想史学会大会＞
2025年	3月	(学会発表)「19世紀初頭の通信使と朝鮮認識——学問所儒者の筆談想定問答集を中心に」＜2025 동아시아한국학 학술회의 - 동아시아 국제관계사의 새로운 시각＞

教員業績

マツモトモヤ

氏名

松本 智也

著書等

- | | | |
|-------|-----|--|
| 2016年 | 11月 | (論文翻訳)鄭多函「“事大”と“交隣”と“小中華”という枠組みのTransnationalな脈絡」(単)<『東アジアの思想と文化』8号> |
| 2019年 | 5月 | 『東アジア 遭遇する知と日本—トランスナショナルな思想史の試み—』(共)[桂島宣弘ほか]<文理閣> |
| 2021年 | 3月 | (論文翻訳)鄭旭宰「『彰明』の構成と性格」(単)<『東アジアの思想と文化』12号> |
| 2021年 | 3月 | (論文翻訳)卞恩眞・金貞和「日帝強制占領期、儒教団体機関紙の現況と性格」(単)<『東アジアの思想と文化』12号> |
| 2023年 | 7月 | 『〈文事〉をめぐる日朝関係史——近世後期の通信使外交と対馬藩』(単)<春風社> |

所属学会等

立命館史学会、日本史研究会、朝鮮史研究会、日本思想史学会、歴史科学協議会、日本経済思想史学会